2023.9.1

統計を調べる

近畿大学中央図書館

レポート・論文に適切なグラフや表があれば、説得力がぐんとアップします。
グラフや表の元になるデータは様々な統計調査によって調査・公開されています。
インターネットで公開されているものもたくさんありますので、統計資料をどんどん活用しましょう。

統計のガイドブック

どんな統計があるか、それぞれの統計はどんな内容のものか、を紹介している資料があります。
項目ごとにどの統計を見ればよいか案内してくれるものもありますので、統計を探すときに大変便利です。

『官庁統計徹底活用ガイド』（生活情報センター）5階 参考図書【350-Ka49-2005】
➢それぞれの統計について概要・注意点・利用法が紹介されている。実例が豊富で見やすい。

『民間統計徹底活用ガイド』（生活情報センター）5階 参考図書【350-Mi44】
➢定期的に発行されている民間統計の紹介。どんな統計が実施されているか知りたいときに。

『日本統計索引』（日外アソシエーツ）5階 参考図書【351.031-N77】
➢約1万語のキーワードから該当する統計資料を探すことができる。
1975年刊行で年代は古いが、採録語が豊富。

『統計情報インデックス』（日本統計協会）5階 参考図書【350.19-To29-2008】
➢キーワード索引があり、特定の事柄を調べるにはどの統計を見ればよいかがわかる。

『統計調査総覧』（全国統計協会連合会）5階 参考図書【350.19-To29-2004】
➢国、地方公共団体などによる過去5年間の統計調査のうち、総務省が受理したものの一覧。
国（府省等)編と地方公共団体(都道府県・市）編がある。

『白書統計索引』（日外アソシエーツ）5階 参考図書【350-H19-2016】
➢白書に掲載されている表やグラフなどの統計資料を、キーワードから調べることができる。

『国際比較統計索引』（日外アソシエーツ）5階 参考図書【350-Ko51-2020】
➢白書や国際統計集に掲載されているデータを国別にまとめている。事項索引もあり。

『データ&Data：ビジネスデータ検索事典』（日本能率協会）5階 参考図書【350-B42-2012】
➢ビジネスに関する数字を調べたいとき。
「大学生の生活実態は？」などのQ&A形式で、解説と資料の案内。

長期統計・歴史統計

『日本長期統計総覧』（日本統計協会）5階 参考図書【351-N71】
『数字でみる日本の100年』（矢野恒太記念会）5階 参考図書【351-Su53】
『明治大正国勢総覧』（東洋経済新報社）参考図書【358.1-Me25】[書庫]
『完結昭和国勢総覧』（東洋経済新報社）参考図書【358.1-Sh97】[書庫]
『マクミラン新編世界歴史統計』（東洋書林）5階 参考図書【350.9-Ma22】
「ヨーロッパ歴史統計：1750-1993」
「アジア・アフリカ・大洋州歴史統計：1750-1993」
「南北アメリカ歴史統計：1750-1993」

● 国内の統計について

統計には、国の行政機関・地方公共団体などが作成する公的統計と、民間団体が作成する民間統計があります。
統計によって国内の様々な実情を把握するため、公的統計は基幹統計を中心として体系的・効率的に整備を図り、広く国民が入手・利用できるように統計法で定められています。統計法は平成19年に全面的に改正され、平成21年4月に施行されました。旧統計法では「基幹統計」のかわりに「指定統計」の用語が使われていました。古い統計資料を見るときには注意してください。

日本の統計

『日本統計年鑑』（日本統計協会）5階 参考図書【351-N71】　第1回(昭和24年)～　e-Statで公開
『日本帝国統計年鑑』（東京リプリント出版社）参考図書【351-N77】
第1回(明治15年)～第59回(昭和15年)　［書庫］
『日本国勢図会』（矢野恒太記念会）　5階 参考図書【351-N71】　昭和2年～（欠年あり）
『統計でみる日本』（日本統計協会）　5階【351-N71】　2001年～

«ウェブサイト»
e-Stat 政府統計の総合窓口　https://www.e-stat.go.jp/
➢『国勢調査報告』は、e-Statで公開されています。

総務省統計局・政策統括官（統計基準担当）・統計研修所　https://www.stat.go.jp/

地方

『大都市比較統計年表』（大都市統計協議会）5階 参考図書【351-D28】　横浜市統計ポータルサイトで公開
『社会生活統計指標：都道府県の指標』（日本統計協会）5階 参考図書【365.5-Sh12】e-Statで公開
『データでみる県勢』（矢野恒太記念会）5階 参考図書【351-D65】 e-Book
『統計でみる都道府県のすがた』（日本統計協会）5階 参考図書【361.91-To29】　e-Statで公開
『統計でみる市区町村のすがた』（日本統計協会）5階 参考図書【351-To29】 e-Statで公開
『民力』（朝日新聞出版）5階 参考図書【351-Mi47】
『地域経済総覧』（東洋経済新報社）雑誌【S33-T3】『週刊東洋経済』の臨時増刊として毎年刊行
『大阪府統計年鑑』（大阪府統計協会）　5階 参考図書【351.63-O73】平成20年度まで所蔵　大阪府のサイトで公開
『大阪市統計書』（大阪市）　5階 参考図書【351.63-O73】大阪市のサイトで公開

人口

『人口動態統計100年の動向』（厚生統計協会）　5階 参考図書【358.1-J52】明治32(1899)年～平成10(1998)年
『日本の人口統計総覧』（生活情報センター）　5階 参考図書【358.1-N71】2005年版～2006年版
『日本の将来推計人口』（厚生統計協会）　5階 参考図書【358.1-N7】
『世界人口年鑑』（原書房）　5階 参考図書【358-Ko51】別巻『世界人口予測1950→2100』もある

《ウェブサイト》
人口推計　e-Statで公開
日本の将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所のサイトで公開

経済・ビジネス

『日本経済統計集』（日外アソシエーツ）　5階 参考図書【330-N71】
『外資系企業の動向』（経済産業統計協会）　5階 参考図書【335.47-G15】 e-Statで公開　<外資系企業動向調査>
『労働力調査年報』（日本統計協会）　5階 参考図書【366.21-R59】 e-Statで公開　<労働力調査>
『毎月勤労統計要覧』（労務行政）　5階 参考図書【366-Ma31】　e-Statで公開　<毎月勤労統計調査>
『商業販売統計年報』（経済産業調査会）7階集密 参考図書【670-Sh95】　e-Statで公開　<商業動態統計調査>
『国際連合貿易統計年鑑』（原書房）7階 参考図書【678.9-Ko51】

《ウェブサイト》
我が国企業の海外事業活動　e-Statで公開　<海外事業活動基本調査>
企業活動基本調査　e-Statで公開
法人企業統計調査　e-Statで公開
賃金センサス　e-Statで公開　<賃金構造基本統計調査>
雇用動向調査　e-Statで公開
経済指標のかんどころ　富山県経営管理部統計調査課
https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/kandokoro/index.html

注）【請求記号】のうち３段目に年の表記があるものは省略しています。
<>内に記載しているのは、政府統計名です。

産業

紹介している以下の資料は、*e-Stat*で公開されています。＜＞に記載しているのは、 政府統計名です。
『平成7-12-17年接続産業連関表』（総務省）5階 参考図書【331.19-Sa63】　＜産業連関表＞
『建築統計年報』（建設物価調査会）6階 参考図書【520-Ke41】 平成23年度版まで所蔵
＜建築着工統計調査＞ほか
『経済産業省生産動態統計年報. 機械統計編』（経済産業調査会）
6階 参考図書 【530.9-Ki21】＜経済産業省生産動態統計＞
『サービス業基本調査報告』（日本統計協会） 7階 参考図書【673.9-H51】＜サービス業基本調査＞

《経済産業省サイト》
『経済産業省生産動態統計年報. 資源・窯業・建材統計編』（経済産業統計協会）
工業統計表　2021年度まで＜工業統計調査＞、2022年度以降＜経済構造実態調査＞

物価・家計

紹介している以下の資料は、*e-Stat*で公開されています。＜＞に記載しているのは、 政府統計名です。

『全国物価統計調査報告』（日本統計協会）5階 参考図書【337.85-Z3】　＜全国物価統計調査＞
『小売物価統計調査年報』（日本統計協会）5階 参考図書【337.85-Ko95】＜小売物価統計調査＞
『家計消費の動向：消費動向調査』（佐藤印刷）5階 参考図書【365.4-Ka24】　＜消費動向調査＞
『家計調査年報』（日本統計協会）5階 参考図書【365.4-Ka24】　＜家計調査＞

生活

『厚生統計要覧』（厚生労働統計協会）6階 参考図書【498.1-Ko83】
厚生労働省のサイトで公開
『社会保障統計年報』（社会保険法規研究会）5階 参考図書【364-Sh12】
国立社会保障・人口問題研究所のサイトで公開
『データブック・国民生活時間調査』（日本放送出版協会）5階 参考図書【365.5-Ko48】
『日本人の価値観：データで見る30年間の変遷』（生活情報センター）5階 参考図書【365.5-N71】
『勤労者の暮らしと生活意識データ集』（生活情報センター）5階 参考図書【366.7-Ki46】
『女性の暮らしと生活意識データ集』（三冬社）5階 参考図書【367.2-J76】
『若者ライフスタイル資料集』（アーカイブス出版）参考図書【367.6-W23】
『個人消費データ総覧』（生活情報センター）5階 参考図書【365.4 - Ko39】
『国民健康・栄養の現状』（第一出版）参考図書【498.55 - Ko48】[書庫] 平成21年まで所蔵
e-Statで公開 ＜国民健康・栄養調査＞
『食生活データ総合統計年報』（三冬社）6階 参考図書【498.5-Sh96】
『余暇・レジャー&観光総合統計』（三冬社）5階 参考図書【365.7-Y74】
『全国観光地観光客データブック』（アーカイブス出版）7階 参考図書【689-Z3】

《ウェブサイト》
国民生活選好度調査　内閣府のサイトで公開
http://www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/senkoudo.html　平成8(1996)年～平成24(2012)年まで調査

教育

『学校基本調査報告書』（ブルーホップ）5階 参考図書【370-G16】e-Statで公開　＜学校基本調査＞
『教育指標の国際比較』（国立印刷局）5階 参考図書【370-Ky4】 平成19年版まで所蔵
文部科学省のサイトで公開　＜諸外国の教育統計＞

世界の統計

『国際連合世界統計年鑑』（原書房）5階 参考図書【350.9-Ko51】第1回（1948年）～（欠年あり）
『世界の統計』（日本統計協会）5階 参考図書【350.9-Ko51】
『データブックオブザワールド』（二宮書店）5階 参考図書【350.9-D65】
『世界統計白書：データで見える世界の動き参考図書』（木本書店）5階 参考図書【350.9-Se22】
『世界国勢図会』（矢野恒太記念会）5階 参考図書【350.9-Se22】

統計を利用するときの注意点

統計資料を見るとき、慣れないとわかりにくい点がいくつかあります。次のような点に注意してください。

▼特に公的統計では、それぞれの統計や用語に詳しい説明がなく、何が表わされているのか読み取りにくい場合があります。
「＊統計のガイドブック」で紹介した『官庁統計徹底活用ガイド』などを参考にしてみましょう。
また、統計の元データではなく、それを加工したグラフや解説がまとめられているデータ集などがあると理解しやすくなります。近くの書架にあるか探してみましょう。
▼調査の範囲や対象は年によって変わることがあります。序文や解説があれば確認しておきましょう。
▼調査の名前は同じでも年によって実施規模や調査項目が異なる場合があります。5年分ぐらいを通覧して違いがないか見てみましょう。
▼同じ調査でも管轄官庁が変更になったり、どの統計に含まれるかが変わったりすることがあります。
複数の資料を確認するようにしましょう。

《e-Stat利用の注意》
公的統計はいまやほとんどがウェブ上で公開されています。e-Statは政府統計の窓口として公的統計を横断的に探すことができますが、最新のデータや逆に古い年度のデータは統計を作成した機関のサイトでしか公開されていない場合があります。e-Statで作成機関がわかったら、その機関の公式サイトも確認してください。

《統計学や統計の分析方法などについて調べたいとき…》
一般的な統計学は分類番号350番台、統計数学・数理統計学は417番台です。
OPAC検索とあわせてこれらの書架も参考にしてください。そのほかにも、統計について分かりやすく紹介している本がたくさんあります。

『経済・経営のための統計教室：データサイエンス入門』小林道正（裳華房）5階【331.19 - Ko12】
『統計グラフのウラ・オモテ：初歩から学ぶ、グラフの「読み書き」』上田尚一（講談社）
BT-DONDEN 03(05-01)【000-講談社ブルーバックス-1497】
『ウソを見破る統計学：退屈させない統計入門』神永正博（講談社）
BT-NOAH 22(08-B)　【000-講談社ブルーバックス-1724】

マメ知識

レポートや論文に図表・グラフを取り入れるときには、基本的なルールがあります。

★図表番号★
複数の表・図を使う場合、出てきた順に番号をつける。表と図が混在する場合、表には表１、表２、、、図には図１、図２、、、とする。グラフは図として扱う。

★図表番号、タイトル（キャプション）の位置★
一般的には、表の場合は表の上、図・グラフの場合は下に入れる。

表１　年齢別利用率　（単位：%）

	A	B	C
20～24歳	87.5	41.3	22.9
30～34歳	90.1	27.6	16.8
40～44歳	81.7	17.5	8.2
50～54歳	68.0	10.3	6.3
60～64歳	55.6	4.6	6.3

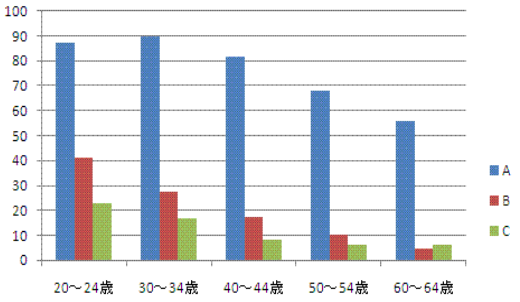

図1. 年齢別利用率